



## 森林ボランティア 「オホーツクの会」だより No. 20

### ※新役員をお迎えしました※



会長 鞘師 守 (さやし まもる)

このたびお二人の方に会の幹事就任をご快諾いただき、長く会の懸案となっていた役員補充を果たすことができました。常呂川森林環境保全ふれあいセンターで会を支援くださっていた栄平男さんと、ガイド役などでご活躍いただいていた小原励さんです。お二人には新たな立場で、これまでも増して会の面倒を見ていただくこととなります。今後とも、よろしく願いいたします。



## 森林や自然に感謝し、活動を!

幹事 栄 平男

3月末で42年間勤めた国有林を常呂川ふれあいセンターを最後に定年退職し、今は“自由人”の栄平男です。この度、「オホーツクの会」の役員会からの推薦で幹事を担うことになりました。森林の持つ不思議さや機能に感謝しながら、会員の皆様と共に森林や自然とお付き合いをしていきたいと思っています。今後とも宜しくお願いします。



幹事 小原 励

特別、大志を持っている訳ではありませんが、せめて今までより少しプラスαの部分に参加出来たらいいと思います。そしていつの日か、北見全市民が緑に目を向けてもらえる様頑張ります。



### ※のぼり旗をつくりました※

当会の活動を分かり易く多くの方々に理解、支援を頂くと共に、共感する人の輪を広げることを目的に“のぼり旗”を掲げアピールに活用します。

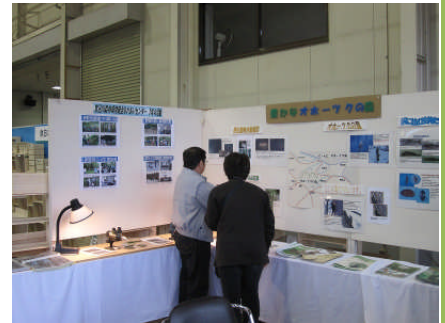


# オホーツク木のフェスティバルへのお手伝い

このイベントは、オホーツク圏で生産された木材・木製品などの商品を展示販売を行うほか、森林の大切さや木のぬくもりや優しさを伝え、森林への関心を高めてもらおうと5月18日～20日に開催されました。

このイベントには「常呂川森林環境保全ふれあいセンター」が出展され活動内容のパネル展示や種飛ばし体験等が行われました。

当会としては、種飛ばしや竹トンボ作りなどの協力を行ったほか、コーナーの一角をお借りしてボランティア活動の写真展示や「オホーツクの会」への入会案内もさせていただきました。



## ※第1回自主活動※

5月27日(日)二班に分かれ散策路の整備を行いました(参加者18名)  
一班は、私たちが昨年開設した新散策路の草刈や支障になる枝払いを行い、見通しの良いすばらしいコースに整備しました。今後はこの散策路の名称や活用方法について皆様からご意見を頂きたいと思えます。



二班は、「平安の森遊歩道」(森の家隣接)の階段設置でコースの途中にある急な傾斜地に木製の階段を設置しました。かなりの重労働でしたがこれから多くの方々が楽しく散策できることを楽しみに頑張りました。



## オホーツクの森森林ボランティアに参加して

日本赤十字北海道看護大学  
3年 三島孝文

私は5月27日にオホーツクの森で行われたボランティアに参加してきました。今回、私が行ったボランティアは遊歩道の斜面の階段作成でした。朝から天気はあいにくの曇り模様で、時折雨が降ることもありましたが、木が雨を受け止めてくれ、濡れることはありませんでした。一緒に作業を行ったメンバーは明るい方ばかりで、冗談など話が絶えなく、笑顔で楽しい作業でした。午後は「古の森」を散策し、様々なことを教えてもらいました。



森の競争社会、歴史、草木や花の名前、由来など多くのことを知りました。また、木々に囲まれて散歩するのは、鳥の鳴き声や葉っぱがこすれる音が心地よく聞こえ、気のせいか空気もおいしく感じて、とても穏やかな気分ができたことを覚えています。また、メンバーの方にも、優しくしてもらい、温かみを感じたボランティアでした。機会があれば次回のボランティアに参加してみたいと思います。ありがとうございました。



## ※第2回自主活動※

6月24日(日)午前中は「森の家」周辺の草刈や第1回目に階段を設置した「平安の森遊歩道」10箇所土のう袋を積み、子供でも歩きやすいよう整備しました(参加者6名)



午後からは「古の森」散策路に覆いかぶさっている雑草を鎌で刈り払い、利用しやすいコースに整備しました。途中の刈り払い不要個所では、森林散策を楽しみました。



## 森林ボランティア参加感想(6月24日)

北見工業大学 4年 荒尾健太

私は、「オホーツクの会」が行っている活動に参加する機会を得ました。私が行なったものは、森の散策路の階段補修と下草刈りです。階段の補修は土嚢を作って階段の段差を小さくするもので、とても重労働で大変でした。



しかし、作業の合間にふと周りを見るとたくさんの木々に囲まれており、耳をすますと遠くの方から小川の流れる音が聞こえてきます。素晴らしい環境の中に立っていることを感じることができ、とても癒される思いがしました。森の中で汗をかきながら行う作業の楽しさを実感することができました。

また下草刈りでは、「古の森」へ行きました。そこは人の手がつけられていない森で、とても神秘的なところでした。



途中でかじってみた苦木（にがき）の葉の苦みはなかなか取れず、活動が終わる2時過ぎまで口の中に残っていました。いろいろな植物に触れることができ、木の生命力に圧倒されました。

森の木や花などの植物について知るだけでなく多くのことを学び・感じることができ、今回のボランティア活動は私にとって貴重な体験になりました。

このような活動を通して木を知ること、人と関わることを大切にしていきたいと思いました。

活動に参加させてくださった、オホーツクの会と常呂川森林環境保全ふれあいセンターの皆様には感謝の意を表します。ありがとうございました。

## 森林ボランティア「オホーツクの会」に初参加して

植村 之彦

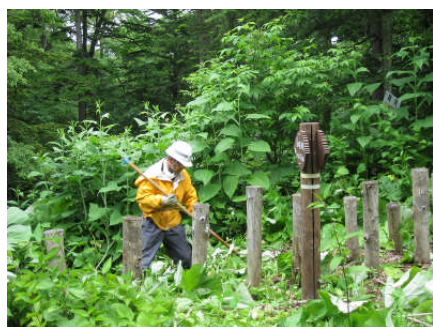
待望の初参加です。若い頃は、林道設計が専門の測量会社で、夏は北海道各地の山の中を、冬は本州の大自然の中をかけ廻っていました。



退職後の生きがいとして5年前から「十勝三股森づくり21」、角さんが会長の「きたみ森林づくりクラブ」等に参加。今年は「オホーツクの会」「森づくり塾」「オホーツクみどり検定」の勉強会等に参加することができました。

「森の家」近くの散策路の階段設置では、我々中高年の森林ボランティアが日赤看護大の学生の若い力を借りて、立派に仕上げる事が出来ました。第2回の活動では階段の落差を小さくする土のう積みに、北見工大生の若い力が活躍してくれました。我々中高年の気の合う仲間と大学生の若さの組み合わせがすばらしい「オホーツクの会」ですね。

「オホーツクみどり検定」（ガイド編）の勉強会では「古の森」にて吉田事務局長を先生に、樹木・草花の覚え方を学びました。この勉強会で自分の覚えている樹木の仲間に、新たにニガキ、ミズキ等数種を入れることができました。アカエゾマツの巨木が赤紫色のウロコ肌で周りを圧倒して立っている



のには感動させられました。巨木には神が宿ると言われていますが、まさに神々しくみえます。

森林の中が大好きな自分ですが、「古の森」は他にないすばらしい森林ですね。樹木の名、草花の名を覚えると益々森林の散策が楽しくなります。3日の勉強会で森林ボランティア仲間と気の合う仲間となり、これからも毎日の活動日に会うのが楽しみになりました。



「オホーツクの会」の皆様のおかげで、遊歩道の草刈りや階段が整備され、安全に歩行できるようになりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

常呂川森林環境保全ふれあいセンター

### ※個人自主活動※

## 栄さん一人で草刈・・・感謝感謝

6月と7月に森の家周辺と林道沿線の草刈を行っていただきました。大変きれいになりありがとうございました。



MV草刈機  
注：イメージ画

6月6日（木）に「森の家」前広場の草刈り及び7月2日（月）に「オホーツクの森」内の林道で見通しの悪い所の草刈りを、一人で実施していただきました。

各行事を行うにあたって、大変助かりました。常呂川森林環境保全ふれあいセンターより厚くお礼申し上げます。

# 元気にさせてくれる森林

森林ボランティア活動に参加頂きましてありがとうございました。おかげさまで散策路などがきれいに整備され、今後多くの人々が訪れることを楽しみにしています。

一方、私たちが生活している社会は、日頃時間やノルマに追われ、とにかくストレスがたまりやすい状況にあるといわれています。

森林には自然の時間の流れと自然のリズムがあり、その中で“何も考えずにボーっと過ごすだけ”でも日常生活で生じるストレスを解消する効果があります。

また、森林など自然豊かな環境のなかにある病院では患者の治癒が早くなることも実証されています。

日常生活で何かに疲れ、自分を見直したい時がきたら、意識的に森林に出かけてリフレッシュされては如何でしょうか？



エゾハルゼミの脱殻

私たちが森林ボランティア活動をするると森林の“癒し効果”に加え、更に森林を豊かにしているという心も加わり、より一層のリフレッシュ効果が得られるものと思います。今後も参加を期待しています。



## ※オホーツクみどり検定勉強会と検定※

この検定は「オホーツクみどりネットワーク」が実施したもので、緑の大切さを理解していただき緑を守り育てる協力や輪を育てることを目的に行われたもので、オホーツク地域の住民を対象とした検定。今回初めて北見市で7月7日に開催されました。



オオミズアオ  
ヤマムガ科(全国)  
支羽開長(80~120mm)



当会としても、会員の皆さんに挑戦して頂きオホーツク地域の素晴らしさやみどりの素晴らしさを再発見して森づくりに活用して頂きたいとの思いで6月23日、30日検定に向け検定会場である古の森で勉強会を実施しました。  
(参加者：23日 5名、30日 8名)

### 6月23日勉強会



### 6月30日勉強会



### 第3回オホーツクみどり検定当日の様子

検定は基礎編(筆記のみ)とガイド編(筆記及び野外検定)の2つのコースがあり、ガイド編については、「オホーツクの森」で7月7日(土)に実施しました。当日は13名が受検していました。

野外検定では5名一組で回り、1分以内で判別、紙に記入する方法でした。特に樹木判別においては、高木の木もあり、木の肌や枝の様子だけで判断ができず、苦勞している様子も見受けられました。今後、正解率に応じて認定書が送られてきますので、受検者はドキドキしていることでしょう。

#### 基礎編



#### ガイド編



## お知らせ

### ○秋季ボランティア植樹場所の草刈

9月9日(日)…詳細は後日連絡します。

例年実施しています春のボランティア植樹について、諸般の事情により、今年度は秋の植樹実施へと変更しています。場所は例年通り「オホーツクの森」で行います。現在、10月実施で、各方面との日程調整中で、近々に決定予定です。

なお、ボランティア植樹を行うに当たっては、事前に植樹箇所の草刈りを実施する必要があります。そこをお願いなのですが、「オホーツクの会」の会員の皆様のご協力をいただき、植樹箇所の草刈りを9月9日(日)に行うことで、貴会役員会でご了承をいただきました。ぜひ、皆様のお力添えで、ボランティア植樹が成功するようよろしくお願いいたします。

常呂川森林環境保全ふれあいセンター



## ○今年度森林散策会

実施日：10月6日（土）

場 所：阿寒国立公園 オンネトー

会員先着受付開始します。

参加申し込みは事務局まで。

電話で受付します。



## 昨年の様子



オンネトーの看板犬



阿寒ネイチャーセンター

## ○仮題名「森林ボランティア活動発表会」

実施：12月、札幌市

内容：道内の各ふれあいセンターと森林ボランティア団体が集まり発表会や意見交換会などが行われる予定。



お問い合わせ

北海道森林管理局  
常呂川森林環境保全ふれあいセンター内  
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-0035 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960

050-3160-6321

FAX 0157-23-2472

平日8:30~12:00 13:00~17:15